



京都府印刷工業組合

盛夏号

SUMMER ISSUE

京印季報

Kyoinkiho

2021 SUMMER

Special Contents:

夏期特別企画

官公需対策勉強会より
「身近な事例から学ぶ、
印刷会社の著作権」

- 1 | 巻頭言／副理事長 高橋 東作
- 2 | 夏季特別企画
官公需対策勉強会より「身近な事例から学ぶ、印刷会社の著作権」
- 4 | 令和 3 年度通常総会開催
- 5 | 理事長メッセージ／理事長 笹原あき彦
- 5 | 京都府知事表彰（組合功労者表彰）を受ける
- 6 | 京都府印刷業界功労者顕彰受賞者・優良勤続従業員表彰受賞者のご紹介
- 11 | 令和 3 年度近畿地区印刷協議会総会開催
- 12 | 各種共済制度等加入促進キャンペーン開催のご案内
- 13 | 飲料自動販売機設置紹介事業のご案内
- 13 | 新事業 共同購入による燃料給油カード発行のご案内
- 14 | 委員会だより／共済委員会
- 14 | 委員会だより／総務委員会
- 15 | 支部だより／下支部
- 15 | 会合だより／京都青年印刷人月曜会
- 16 | 会合だより／京都印刷協和会
- 17 | 会合だより／京都府印刷関連団体協議会・京都府中小企業団体中央会
- 19 | 関連団体だより
- 20 | 統計だより／材料価格定点調査
- 20 | 組合員 NEWS
- 22 | 新企画
よしみ散歩～印刷会館周辺地域のご紹介～
- 22 | 新型コロナウイルス感染症に関する事業者向け支援制度について
- 24 | 4月・5月・6月 定例理事会開催概要
- 24 | 組合創始 130 周年記念事業の延期のお知らせ
- 24 | 事務局からのお知らせ
- 25 | 印刷会館利用状況
- 25 | 組合日誌
- 26 | 組合員異動
- 26 | 訃報
- 26 | 表紙作者者紹介
- 26 | 編集後記



2021 SUMMER



新型コロナのもたらす環境の変化は想像を絶するものがあります。盛夏号がお手元に届く頃、東京オリンピックはどのようなカタチで開催されているのでしょうか。8年前オリンピックが東京開催に決まった時、今の状況を誰が想像していたのでしょうか。小生も日本で開催されるオリンピックが一生で二回見られる喜びに興奮していました。

「組合創始130周年記念式典」も是非開催したいと準備にかかっておりましたが、結果的には延期せざるを得ず、総会のみが印刷会館で開催されました。緊急事態宣言再々延長の中、基本方針で「印刷産業の構造改革はもはや待ったなしの局面にあり」と宣言されました。

コロナ禍の今、多くの業界が「7割経済⇒縮小経済」に陥っているといわれています。コロナ終息の捉え方も難しいですが、終息の折には経済環境が元に戻っているのでしょうか。経営の舵取りが改めて問われています。


そのような中、改めて組合とは何なのでしょう。

皆様のお手元には「INSATSU未来トランスフォーメーション」という提言書が届けられていると思います。現状を客観的に捉え、トランスフォーメーションをどのように実現するか、示唆に富む提言書です。是非一読頂ければと思います。

若くして家業の印刷を継ぐことになったある先輩が不安な中、京都青年印刷人月曜会(業界若手の会)での交流を通じて学びと励ましを得たと仰っておられました。組合は一企業では実現し難い環境整備を提供すると共に企業経営に役立つ情報を発信しています。それらをどのように役立てていくかは、先輩のお話ではないですが、組合員それぞれの課題によって変わってまいります。組合こそ「叩けよさらば開かれん」の存在なのでしょう。そのような存在であり続ける為に、コロナ禍の元、理事の皆様が中心となり、各委員会が現在も課題に取り組んでおられます。



<https://kyoinko.jp/>

 京都府印刷工業組合
副理事長 高橋 東作



身近な事例から学ぶ、 印刷会社の著作権

講師 中西 秀彦 氏
(京都府印刷工業組合理事・環境労務委員長)



2021年盛夏号の特別企画では、去る3月4日(木)午後4時より京都印刷会館にて開催された、官公需対策勉強会「身近な事例から学ぶ、印刷会社の著作権」の講演要旨をご紹介します。

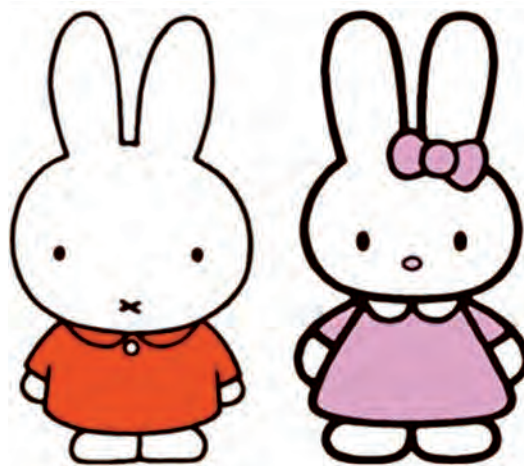
今回の勉強会では、日本ペンクラブや日本出版学会で著作権の活動をしてこられ、組合内でも印刷会社の著作権擁護の陳情活動に長年取り組んでいる中西秀彦氏(理事・環境労務委員長)に講師を務めて頂き、著作権の概要や中間生成物問題、そしてデジタル・インターネット時代のあらたな展開等、印刷会社における著作権の課題についてじっくり解説して頂きました。是非ご一読下さい。



著作権とは

著作権というと堅苦しいですが、一言でいうと、他人の書いた文章なり絵画は勝手に利用できないと言うことです。しかも著作権は発表した時点で発生します。どこかに登録したり、宣言したりする必要はありません。これが特許権等と違うところです。ただ、著作物は簡単なものであれば似てしまうことはあります。たとえば、うさぎのミッフィー事件というのがありました。これはうさぎのキャラクターであるミッフィーを創作したオランダの絵本作家ディック・ブルーナ氏が、サンリオのキャラクターであるキャシーはミッフィーの著作権を侵害していると訴えたものです。この裁判は結局、和解に至るのですが、著作物がどこまで似れば侵害かは最終的に裁判所に決めてもらうしかないということがわかります。

原則的には、著作権については侵害だと訴えられない限り問題にはなりません。また、裁判が長引くと訴える側にも労力と費用がかかるので裁判沙汰になることは少ないでしょう。しかし、最近ではSNS等で盗作だと指摘されると、裁判に訴えられるまでもなく社会的に断罪されることがあります。従って、訴えられないからといって安易に利用することは禁物です。



ミッフィー(左)とキャシー(右)

原著作者 Dick Brunner SANRIO

引用元

<https://www.sanrio.co.jp/wp-content/uploads/2013/12/20110607.pdf>



勉強会会場



著作権の例外

著作権保護には例外もあります。よく知られているのは、著作者が死んだ後、一定期間たてば著作者の遺族であっても著作権を主張することができなくなることです。従って、古典名作等は著作権を気にせず自由に使っているのです。この期間については、最近まで50年でした。太宰治の作品などは死後50年を経た1999年から誰でも自由に出版でき、当然青空文庫にも掲載されています。ところが、国際的には70年が主流だったこともあり、2018年の法改正で期間が70年に延長されました。従って、1970年に割腹自殺した三島由紀夫は今年から自由に使えるはずでしたが、2041年まで延びてしまいました。

また、もう一つ著作権保護の対象外としているものとして引用があります。他者の著作物の批評や評価をするため、自分の著作物に引き写す行為です。ある意味、先人の著作の上にあらたな知見をつけくわえて現在の文化が成立しているのです、これが認められないと知の再生産が回っていかないことになります。前述のミッフィーやキャッシーの絵は、この引用ルールに基づいて掲載しています。引用する場合は、「公正な慣行」で「正当な範囲内」を「出所を明示する」などが必要となります。

その他、事実の伝達にすぎない時事報道、アイデア、法令なども著作権保護の対



中西秀彦氏

象外とされています。もっともこれも、保護の対象となるかどうかの線引きは微妙であり、度々裁判沙汰となっています。



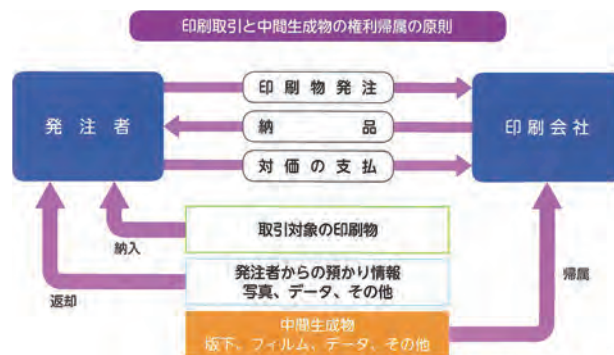
中間生成物問題

印刷会社にとって著作権に関する最近の話題と言えば、やはり中間生成物問題でしょう。中間生成物とは印刷物を作る際に途中経過として作られるモノやデータです。たとえば、平版印刷では以前、製版フィルムを保存しておき、再版の際にはその保存したフィルムを使用していました。この製版フィルムについては、発注元の出版社が譲渡を要求するようなことがありました。この場合、フィルムの上の情報については出版社が著作権を有しています。印刷会社は勝手にこのフィルムを利用して他の用途に使ったりはできません。但し、フィルムそのものは印刷会社の所有物です。

さて、近年印刷システムのデジタル化とともに、デジタルデータの取り扱いが問題となってきました。印刷会社が依頼者から原稿を受け取り、本にして納品する過程において発生した印刷用データは所有権の対象となるモノ(有体物)ではありません。所有権類似の使用・収益・処分権を観念できる無体物に過ぎないものです。その権利の帰属については、発注元と印刷会社との間の特段の合意がない限り、印刷会社に帰属するとの地裁判決が存在します。

インターネットの普及によって、発注元は当然のように印刷作業過程で印刷会社が製作したPDFファイルが無償で交付することを要求する事例が増えていきます。そのようなPDFファイルは、印刷会社が権利を有する中間生成物にあたりますので、法的にはその要求を拒否できると考えられます。しかし、あまり依頼者側とトラブルをおこしたくないということであれば、インターネットに載せる目的に限定して低解像度のものを渡すという対応も可能でしょう。これについては、全日本印刷工業組合連合会からも権利関係に関する下のような図が配布されています。

(文責：編集委員会)



出典：「印刷の契約」と「著作権」(全日本印刷工業組合連合会)